

み

か

い

安住院便り (第9号)

平成14年8月1日発行
〒703-8236
岡山市国富3丁目1-29
住職 生駒琢一
TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

お 盆

毎年、八月になると「お盆」でご先祖様をお迎えする準備があり、お寺からは「盆経」といって、各家の精霊飾りの前でお勤めして回ります。今でも田舎ではまだ行われている所もありますが、盆経は本来、棚経と言われ、その家の庭先に作られた精霊棚を拭むので、その名があるのです。でも現在町中ではなかなか場所もなく、床の間への精霊飾りが一般的的です。

お盆とは、今の東京地方のように七月中ばかりのことが、旧暦の方が馴染みやすく月遅れのお盆、つまり八月十三日から十五・六日位を指すのです。しかし、新暦で行うお寺さんはあります、前にも言つたようにお盆を迎える精霊飾りを供養するのですから、八月に入つて早いころからお坊さんは忙しく回り始め、お盆までに済ませてしまふのが本来です。そして、お盆までに全てのお家を回りますので、皆さんも御協力よろしくお願ひ致します。

ところで、お盆とはお経にでてくるのですが、お釈迦さまのお弟子さんの一人が自分の母上が地獄で責められている苦しみから救う為、多くの僧侶にお経を読んでもらう功德をつむことで、その難から逃れたことが始まりであります。皆さんもご先祖様が苦しまないよう、お盆の功德を積みましよう。

最近は、家族が一緒にいる時間すら少なくなっているのですから、せめてお正月とお盆くらいは、家族で一緒に語り合う時間をつくるべきではないでしょうか。

そして、その仏教でのお盆と、日本でのご先祖様が訪れるという信仰とが一緒になり、今のお盆行事になつたのです。しかし、現在ではお盆といつてもお墓のお掃除くらいで、なかなかご先祖さまを迎える準備や、親族が一同に集まることも少なくなつてゐるような気がします。

ですから、お盆しか長い休みが採れない家族旅行へ行く家のものも良いのかもしれません。家族が仲良く遊んでいる姿をみれば、ご先祖さまも決して家に居ることにこだわらないかも知れません。しかし、お墓と御仏壇をしつかり掃除をして、綺麗なお供え物も済ませ、お寺さんの読経も終わつてからにして下さい。そして、我が家のご先祖はどのような方だつたを伝えていくことも、先祖供養の一つだではないでしょうか。将来あなたの方もみんなの仲間になつていくのですから。



お盆とは、今の東京地方のように七月中ばかりのことが、旧暦の方が馴染みやすく月遅れのお盆、つまり八月十三日から十五・六日位を指すのです。しかし、新暦で行うお寺さんはあります、前にも言つたようにお盆を迎える精霊飾りを供養するのですから、八月に入つて早いころからお坊さんは忙しく回り始め、お盆までに済ませてしまふのが本来です。そして、お盆までに全てのお家を回りますので、皆さんも御協力よろしくお願ひ致します。

ところで、お盆とはお経にでてくるのですが、お釈迦さまのお弟子さんの一人が自分の母上が地獄で責められている苦しみから救う為、多くの僧侶にお経を読んでもらう功德をつむことで、その難から逃れたことが始まりであります。皆さんもご先祖様が苦しまないよう、お盆の功德を積みましよう。

遊んでいる姿をみれば、ご先祖さまも決して家に居ることにこだわらないかも知れません。しかし、お墓と御仏壇をしつかり掃除をして、綺麗なお供え物も済ませ、お寺さんの読経も終わつてからにして下さい。そして、我が家のご先祖はどのような方だつたを伝えていくことも、先祖供養の一つだではないでしょうか。将来あなたの方もみんなの仲間になつていくのですから。

六月十五日（土）

青葉まつり厳修

真言宗岡山市内結衆寺院で構成されている弘法大師降誕会の主催による、本年度の青葉まつり（弘法大師誕生会）が六月十五日、当院にて修行されました。市内の寺院を持ち回りで、六年に一度回つてくるのですが、弘法大師稚児像に甘茶をかけてお祝いする法会の他、多彩な催し物に大勢の参拝の方々で賑わいました。御詠歌の方々も沢山集まつて頂けました。



瀬戸内靈場開創記念法会

本年度の瀬戸内靈場会の開創記念法会は、

十月十四日（月・体育の日）

赤穂市尾崎

第十番 普門寺

にて行われます。

本堂の落慶法要もあります。
詳細は、当院までご連絡下さい。

余興の腹話術に始まり、豪華景品の当たる福引きもあり、楽しい一時でお大師さまもさぞお慶びのことと存じます。来年も宜しくお願ひ致しま

高野山参拝

時期は、十月十六日（水）
七日（木）です。

本年の四月十七・十八日檀信徒の皆様と、高野山の奥の院へ参拝いたしました。

足かけ四年掛かつた四国八ヶ所の巡拝も無事終わり、高野山へのお参りでした。

初日、珍しく大雨の中、奈良の西大寺と東大寺へ向かいました。西大寺では有名な大茶盛りを頂き、一人では抱えきれないお茶碗に四苦八苦の皆さまでした。東大寺では久しぶりの大仏さまを修学旅行生といっしょに見学し、高野山西室院泊となりました。

二日目はガイドさんの案内で奥の院・伽藍を参拝し、大師教会で受戒も受けて頂き、大師教会で受戒も受けて頂き、お大師さまと新たな気持ちでお縁を頂いたことと思います。高野山は数年に一度のお参りになりますが、やはりお大師さまの御入定地、清々しい気持ちになつたこととでしょう。

